文化財ボランティア

火曜会通信

第７号
発行日：平成１２年１０月１日
発　行：伊丹市文化財ボランティアの会
発行所：伊丹市千僧１丁目１番地
伊丹市教育委員会事務局内

＜巻頭言＞　「文化財とインターネット」

斎藤　篤義

インターネットは、全世界のコンピュータと相互接続したネットワークのことで、最近のＩＴ（情報技術）時代にＰＣ（パソコン）の性能アップに加速されて益々接続数が増加しています。急速な発展の理由は、全世界とコミニケーション可能な電子メール（Ｅメール）とホームページ（www等）のサービスがあることです。将来的にあらゆる企業が顧客サービスや電子取引（e-コマース）に参加し、巨大市場が形作られるでしょう。これらは利用者数をさらに幾何級数的に増大させるかもしれません。

文化財の分野でもコンピュータはワープロとしての利用に加えて、発掘した遺物の出土位置、寸法や遺構の実測値データを再利用可能な形で蓄積し、それ等のデジタルデータをC.G（コンピュータグラフィック）で三次元画像の形でデータベース化が出来るようになっています。

文化財（考古学）分野のホームページのネットサーフィン（インターネット上で情報を見て回ること）によって、大学の考古学研究室、博物館、文化財関係センターや教育委員会等のホームページからお薦めのリンクサイトへクリック一つでジャンプすることが出来ます。年間一万件以上にのぼる埋蔵物発掘の現地説明会の日程や現地地図まで公表しています。

橿原市教育委員会の植山古墳発掘調査、石川県埋蔵文化センターの加賀郡ぼう示札出土の詳細が新聞に先立ってインターネットに流されました。国立歴史民族博物館では「日本の歴史・文化研究に資する」データベースとして二十数種の検索が可能である上にＢＢＳ（電子掲示板）、電子メールによる情報交換が容易に出来ます。最近のものには写真を含む画像でータが増えています。ＰＣの性能向上と共に、圧縮した信号を復元する技術の進歩で静止画、動画、音声迄デジタル処理によってマルチメディア情報の自作も簡単になりました。

新聞雑誌の各所にhttp://www.のホームページ名が掲載されているのを見るでしょう。我々もインターネットの特徴を生かして、伊丹市の文化財についての情報発信をしたいものです。

主な行事予定（１１月から１月）

◇　定例会

１１月１４日（火）	秋期研修旅行「彦根城と湖東の寺院」市役所前７：４５集合	
１２月１２日（火）	研究発表　「安倉村」	中央公民館
１月１６日（火）	研究発表　「昆陽村の出来事」－古文書から－	中央公民館

☆　分科会日程は２ページです

＜分科会開催日程＞

◇ **第２部会（街道を歩く）**

１０月２４日（火）　集合　9：20　阪急塚口駅南改札口

阪急塚口駅→塚口城跡→御園古墳→伊佐具神社→西光寺→広済寺・近松記念館→
9：30

稲川公園（昼食）→尼崎城跡・桜井神社→寺町→阪神尼崎駅（解散）
12：00　　14：00

１１月２８日（火）　未定

◇ **第３部会**　　**（いずれの日も集合時間は13.30です）**

１１月７日（火）	１２月５日（火）	１月９日（火）	２月６日（火）
昆陽池公園	中央公民館	中央公民館	中央公民館
拓本づくり	**古文書の研究**	**古文書の研究**	**古文書の研究**

◇ **第１部会（村の歴史）**　　**（いずれの日も集合時間は9.30です）**

１０月１７日（火）	１１月２１日（火）	１２月１９日（火）	１月１６日（火）
中央公民館	中央公民館	中央公民館	中央公民館（予定）
研究発表	**打ち合せ**	**打ち合せ**	**打ち合せ**

＜村の歴史＞　　伊丹市内の旧地名を訪ねて

荒牧の旧地名

荒牧の地名の由来については、一説に昔この地に牧場があったことからと言われ、また他の説では聖徳太子がこの地に来た時に、河岸の柳で十一面観世音を刻んで仙柳山容住寺を建立し、付近を開墾して寺田を作り、初めて種を蒔いた地を「アラマキ（新蒔）村」と称したことからと言われています。

荒牧の旧地名のうち「三ノ坪」「九ノ坪」は川辺北条の条里地割の坪地名を使ったものです。また、荒牧には用水として「堂ケ本池」「上ノ池」「下ノ池」がありました。今では埋立てられて、それぞれ大形店舗、短期大学、中学校の用地となっています。古くからの集落があった場所は、荒牧の西側、天王寺川に近い「蔵垣」「木ノ下」あたりです。

その他にも地図に表示しているように多くの旧地名がありましたが、平成１１年７月５日の住居表示の実施により使われなくなりました。

平成１２年３月　　伊丹市

＜この表示板は、荒牧中学校・荒牧センター西側に設置されています。＞

繁じいのむかし話し　　□いのこ（稲の子）□　　松本　繁

「いのこ」は昔から伝わる田舎の子供の行事であったようだ。
秋の取り入れが終わってから豊作を祝い、十月二十三日の秋祭りの一週間後に十三才以下の子供たちが稲穂を取り除いたわらを１０ｃｍ位の太さに固く結んだものを、子供達一人一人が持って夕方各家を一軒一軒廻りながら「いのこのぼたもちを祝いましょう」と大きな声でわらの束を家の玄関の前で打ち続ける。そうすると家の人が出てきて「ご苦労さん」と言いながら小銭を出してくれたり色々な食べ物を出してくれた。何もくれない家では何度も何度も大声を出して打ちたたく。

廻り終わった子供達は広場に集まり小銭や食べ物等を平等に分けて、このお金でノートや鉛筆を買ったりしたようだ。

□　主な活動の記録　□

＜定例会で研究発表＞

発表者とテーマ　　開催場所　中央公民館講議室

実施日　7月11日　　柳沢　森夫さん　　「富本銭について」
　　山本　紀子さん　　「中国での発掘」
実施日　9月12日　　片山美代子さん　　「伊丹郷町と法巌寺」

＜神戸新聞取材案内　城下町を歩く＞

協力　豊田さん　　「兵庫の城下町」来年３月　神戸新聞出版センターより出版予定

＜高齢者向けラジオ番組（ＡＭ神戸）で「火曜会活動の紹介」＞

協力　藤本さん　　放送日　１１月　４日　AM7.00～7.20

＜加古川市生涯学習大学講座で「火曜会活動の紹介」＞

協力　坂根会長　　実施日９月２１日

＜リレー随想＞

『小さな発見』

池田　栄治

知る人ぞ知る。

私の住む近くに「小井の清水」という古びた石囲いの井戸があります。

紅顔時に御先祖さまから聞いた話があり、今まで忘却の彼方に置き忘れていましたが何かに刺激され、置き忘れていた話題を思い出して訪ねてみました。

寺本の正覚院の南側公園になっている片隅の「閼伽井」の話と同一で、近所の古老の話では、昔々の藤原京・平城京時代の僧行基さんが悪病封じのため掘削された井戸で、この水を使うことにより疫病が治癒したと話してくれました。

畑、屋敷の片隅に昔のままの現物が良く保存されています。

昆陽組邑鑑

＜伊丹市立博物館史料集（市立図書館蔵）＞

小井清水

石之無同御座候　但小井清水之銘御座候上は小井内ニ往古より居住仕候佐藤町分百姓甚兵衛と申者之屋敷之内ニ御座候

行基菩薩加持水之由、諸病ニ用別而疱瘡ニ甚其徳御座候

行基菩薩の詠歌

いなのなる　たからのやまに　いりぬれば
こころはきよき　こいのせいすい

次回は平松信子さんにお願いします。

『歳　月』

梶谷　文男

今から約４０年前、姫路から伊丹に転勤しカバン一つで降り立つのは、国鉄伊丹駅でした。

当時の伊丹駅舎は小さく駅前商店街の人通りも少なく、閑散としていましたがちょっと路地裏に入ると昔ながらの板塀、格子戸のある屋敷が並び、そして白壁と黒瓦葺きの酒蔵の連なりに驚かされ、伊丹の歴史の重みを肌で感じました。

また昭和３７年頃、伊丹市民グランド（現阪急リータあたり）で行なわれた兵庫県ソフトボール大会で私の所属チームが伊丹代表として出場し、水たまりの残るグランドで汗を流したのがつい昨日のように思い出されます。

昨年６５才定年を機に余暇の活用、自己研鑽、ぼけ防止のため、この会に入会しました。

かって札幌に居た頃酒の味を知り、酒の産地灘の酒を、そして伊丹に来て酒のルーツを知りました。

「白玉の歯にしみとほる秋の夜の　酒は静かに飲むべかりけり」　牧水

この機会にまぼろしの酒処となりつつある「伊丹酒」を今一度喚起してみたいと思います。

次回は浜野芳雄さんにお願いします。

◇公民館フェスティバルのご案内◇

公民館を活動拠点とする各グループが日頃の成果を持寄り、中央公民館で披露致します。「文化財ボランティアの会」でも行事に参加いたしますので、ぜひご来場頂きますようご案内致します。

「文化財ボランティアの会」の参加行事

開催日	［11/17（金）11/18（土）11/19（日）］	
開催場所	中央公民館	
参加行事	展示パネル	◇ 活動内容を写真で紹介
	展示物と説明	◇ 学校外活動で造られた埴輪土器
		◇ 活動状況のビデオ映像
	公開講座の開催	１１月１８日（土）13：00～15：00
	講師とテーマ	◇柳沢　森夫さん「富本銭について」
		◇片山美代子さん「伊丹郷町と法巌寺」

＜秋の支援・参加行事日程＞

◇　市老連「第４回市内史跡探訪」　（参加予定者３６０人）

１０月１８日（水）　集合時間　９：３０　　集合場所　稲野公園グランド

◇　学校外活動事業　（参加予定者　４０人）

１０月１５日（日）ＰＭ１時～４時	「古代土器をつくろう！」	神津福祉センター陶芸室
１０月２２日（日）ＰＭ１時～４時	「おもちゃをつくり、あそぼう！」	口酒井埋蔵文化財事務所
１１月　５日（日）ＡＭ１０時～ＰＭ３時	「古代土器を焼いてみよう！」	口酒井埋蔵文化財事務所

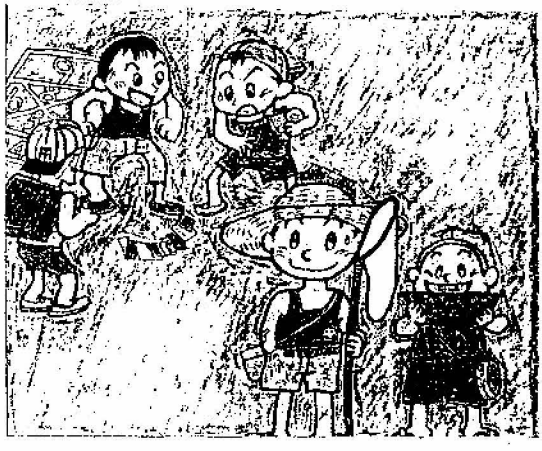
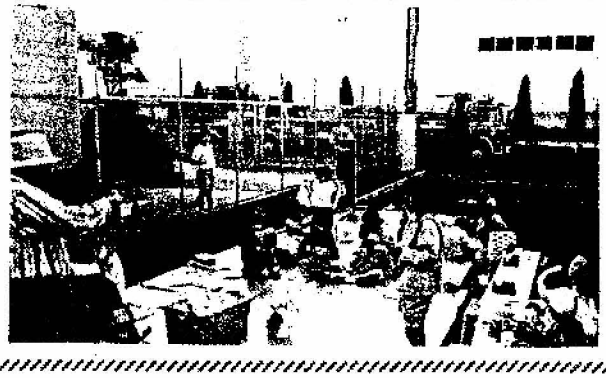
◇　公民館フェスティバルに参加

１１月１７～１９日　展示パネルによる活動紹介／公開講座

☆準備と管理、及び公開講座の動員等に会員皆さんの協力をお願いします

☆学校外活動事業の様子（昨年度）です

歴史体験講座　ＢＹ　文化財ボランティアの会

ふれてみよう　むかしのあそび！

むかし伊丹で使っていた道具で、生活を体験してみませんか！
竹やわらなどで遊び道具をつくり、遊んでみよう！